

平成27年第2回燕市議会定例会

一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月8日(月)	午前	1	渡邊 雄三 議員		○	
		2	柳川 隆 議員		○	
	午後	3	山本 知克 議員		○	
		4	樋浦 恵美 議員		○	
		5	藤井 秀人 議員		○	
11日(木)	午前	6	吉田 勝利 議員	○		
		7	大原 伊一 議員	○		
	午後	8	堀 勝重 議員	○		
		9	土田 昇 議員		○	
		10	白井 丈雄 議員	○		
12日(金)	午前	11	山崎 光男 議員		○	
		12	埴 豊 議員		○	
	午後	13	齋藤 信行 議員	○		
		14	宮路 敏裕 議員		○	
		15	小林 由明 議員		○	
15日(月)	午前	16	大岩 勉 議員		○	
		17	タナカ・キン 議員		○	
	午後	18	山崎 雅男 議員		○	
		19	中山 眞二 議員		○	
		20	長井由喜雄 議員		○	

平成27年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	渡邊雄三 (一問一答方式)	1. 市民協働の安心・安全なまちづくりについて	(1) 通信機器を活用した安全なまちづくりについて	①地域における様々な課題(道路・橋梁・公共施設等)について、スマートフォン等通信機器を活用し、市民から写真付きレポート等を投稿してもらい、その内容を分析することで、課題解決に向けた市民と行政の協働の可能性や仕組みづくりについて考えを伺います。 ②これまでに市民が道路等の管理不全が要因で怪我をした事例はあるのか伺います。また、それに対する対策はどうであったのか伺います。
		2. 高齢者福祉について	(1) 認知症対策について	①国は五か年計画(オレンジプラン)で「認知症ケアパス(状況に応じた適切な医療と介護サービス提供の流れ)」の作成・普及を求めているが本市の取り組み状況はどのようになっているのか伺います。 ②認知症は早期発見、早期治療することで症状の進行を遅らせることができますが、市は、どのように取り組まれていくのか伺います。 ③認知症への正しい理解を深めるためにどのような取り組みをされているのか伺います。 ④小中学校への認知症ジュニアサポーター養成講座「オレンジ教室」実施についての考えを伺います。
		3. 地方創生について	(1) 燕市版総合戦略について	①「まち・ひと・しごと創生」に向けて創生総合戦略策定するとしているが市長の考えをお聞きします。
			(2) プレミアム付き商品券について	①3月議会でプレミアム付き商品券は、燕商工会議所、吉田・分水の商工会が発行し販売するとあったが、規模・実施内容を伺います。 ②3地域で販売予定されるプレミアム付き商品券の特色、違いを地域ごとに伺います。
2	柳川隆 (一問一答方式)	1. 教育行政について	(1) 茨城県常総市の取組について	授業についてゆけないというのは深刻な問題であり、それに光をあて、成果を上げているのは素晴らしい。常総ほっとサタデー教室を視察してきたがそれに基づき以下のことを伺う。 ①燕市内の小学4・5・6年生の学習つまずき児童の現状について伺う。 ②燕市でも同様の取組を行ってはどうか伺う。 ③その際、どのような問題が浮上すると思われるか伺う。
		2. 地域産業ブランド推進事業について	(1) マイカップ運動の推進について	マイカップ運動を盛り上げ、条例制定を成し地場の産業が栄える一助になればよいと考える。そこで以下のことについて伺う。 ①運動の進捗状況はどうか伺う。 ②今後の運動方針について伺う。 ③「金属酒器による乾杯条例」を再び目指すのか伺う。 ④運動を推進していく上で、どのような問題があると考えているのか伺う。 ⑤年間予算400万円の内訳について伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	山本知克(一問一答方式)	1. 認知症対策について	(1) ケアパスの作成状況について	①認知症の気づきから各種関連機関へ相談をし、多職種の機関から必要な支援を受け、地域で生活をしていく一連の流れをまとめ一目でわかるように示した「認知症ケアパスについて」、平成26年6月議会にて、一般質問し作成をすると答弁されているがその後について伺います。
			(2) 認知症カフェについて	①認知症になったからと家に引きこもったり、家族の認知症のことで一人悩んだりするのではなく、気軽にふらっと立ち寄って、認知症のことを話し合ってみたい。そんな思いをかなえる場所、それが認知症カフェです。認知症カフェについて、現在の開催状況と今後の考え方について伺います。
		2. 見守りについて	(1) 弱者の見守りについて	①避難準備支援者リストについて、現在の状況と対象者の確認が「民生委員」任せになっていないか、負担になっていないか伺います。 ②高齢者世帯(単身者を含む)には、地域包括支援センターを含め見守りの対象となっているが(子と)同居は対象となっていない。そのことについて問題がないか伺います。 ③平時の高齢者見守りについて、地域包括支援センターに対して、健康な高齢者世帯1事業所あたり年間200件の見守りをお願いしていると伺うが、自治会との関わりは持てないか伺います。
		3. 健康意識向上のために	(1) 特定健診について	①検診により早期発見に努め、成果も新聞報道されているが、より一層の市民の健康のため、特定健康診査等第2期実施計画による目標の60%受診のため、現在の約50%からどのように受診率を上げていくのか考え方を伺います。
			(2) 燕市国民健康保険について	①特定健康診査第2期実施計画によると高額レセプト(診療点数5万点以上)の合計が医療費で月額1億1千万円となり、医療費全体の約1/4となっているが、病気との付き合い方の周知のため、催されている、市民講座・糖尿病教室などの拡充も、重症者対策に必要なと思われるが、より一層の周知拡大・市での市民講座の開催はできないか、現在の状況と今後について伺います。
			(3) 体を動かすことについて	①レインボー体操について、開催会場・回数が少ないとの要望が出ているが、状況と問題・考え方について伺います。
		4. 予算執行のお知らせについて	(1) 予算執行のお知らせを市民の前に	①毎年4月に当初予算の発表があるが、実施時期の明記がなく全ての事業とはいかないまでも発表できる執行中の事業、事業予定などをたとえば半年後の広報やホームページ等でお知らせすることはできないか、また単年度予算以外でもお知らせ可能な事業がないか伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 女性の社会進出について	(1) 男性の育児休業取得について	<p>①女性の活躍は、パートナーである男性の深い理解と、育児・家事への参加がなくては成り立ちません。男女が子育てしながら生き生きと働ける職場環境づくりが必要です。</p> <p>育児に積極的に関わる男性「イクメン」と、それを職場で支える上司「イクボス」を増やす取り組みが重要であると思いますが、燕市の現状について伺います。</p> <p>②男性の育児休業に対する企業全体の意識向上のため、講演会や研修会の開催を提案したいと思いますが、市の考えを伺います。</p> <p>③父親同士で気軽に育児の悩みを話し合える「イクメン交流会」の開催を提案したいと思いますが、市の考えを伺います。</p>
		2. 子育て環境の整備について	(1) 一時保育の拡充について	<p>①燕市の一時保育については、現在、公立2園、私立3園で実施していますが、内訳は燕地区3園、吉田地区1園、分水地区1園であります。</p> <p>平成26年度の3地区ごとの利用状況について伺います。</p> <p>②吉田地区については、きららおひさまこども園のみで実施しています。保護者の方から「もう1か所増やしてほしい」という声を聞いていますが、市の考えを伺います。</p>
		3. 公共施設の整備について	(1) トイレの洋式化について	<p>①高齢化が進む中、誰もが外出しやすい環境づくりが必要です。</p> <p>「シニアセンターよしだ」を利用されている女性の方から、「洋式トイレが一つしかなく不便なので、増やしてほしい」という声を聞いています。</p> <p>高齢者の方も多く集う公共施設のトイレの洋式化については、非常に重要な課題であると思うが、市の考えを伺います。</p>
		4. 学校教育における「がん教育」の推進について	(1) 命の大切さを学ぶ「がん教育」について	<p>①がんに関する正しい知識を学び、命の大切さについて考える「がん教育」が、全国各地の小中学校で広がりを見せています。</p> <p>文部科学省も2014年度から、全国の学校でモデル事業を始めています。</p> <p>がん経験者による講演を授業として取り入れたり、専門の講師を招き出前講座として開催している自治体もあります。「がん教育」の実施について、市の考えを伺います。</p>
5	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 防災について	(1) 防災体制の状況について	<p>①自主防災組織の組織率はどれ位になったか伺いたい。</p> <p>②7/5(日)実施の燕市総合防災訓練の参加の状況はどれ位か伺いたい。</p> <p>③燕市洪水・土砂災害ハザードマップの新たな見直し、作成は考えているか伺いたい。</p>
		2. 生活環境問題について	(1) 鳥獣害について	<p>①鳥獣害の被害の実態と市の対応について伺いたい。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	吉田 勝利 (一括質問方式)	1. 異常気象と防災行政について	(1) 防災行政の一環として調査実施した土嚢配布のその後について	<p>①過去30年以上にわたって観測されなかったまれな気象のことを異常気象という聞いておりましたが、現在では年間に発生する台風の多いことと、それらが間違いなく日本列島に大雨の被害をもたらせております。そんな中で、平成24年度に防災課が調査し取り組み、実施された希望する自治会に配布した土嚢のことについてお聞きいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 配布された自治会数はどれくらいでしたか。</li> <li>2. 配布した土嚢の数量は。</li> <li>3. 全体での費用はどれくらいかかったかのか。</li> <li>4. 実際に使用した自治会はありましたか。</li> <li>5. 土嚢の保管の条件と状況では1年くらいとの話もありましたが、配布先自治会にどうなっているのか調査をしていますか。</li> <li>6. その後、配布を希望した自治会はありましたか。</li> <li>7. 一度も使用する機会が無かったので引き取ってほしいという自治会はありましたか。</li> </ol>
		2. 防災と防犯について	(1) 防災訓練の時に防犯の大切さの説明が必要と思うが	<p>①防災訓練の大切なことについて説明会が開催されたが、大勢の方々が参加され、さらに熱心な質疑応答もあり、災害がいつこの地に、この身に及ぶかといった不安に対し非常に関心の高いことがわかりました。ところで、災害時には精神的に不安定になってしまい、パニック状況に陥る人が大勢おります。これには行政や医療の面の絶大な力が必要ですが、更にボランティアの温かい手助けもまた必要不可欠なことと思います。</p> <p>しかし、よく聞かれるのが家の大切な物が無くなったとかという話です。お互いにそのような目に遭わないよう注意し合う必要性を防犯の面からも説明し、訓練の一環に組み入れるべきと思うがいかがお考えか。</p>
7	大原 伊一 (一括質問方式)	1. 公共施設等総合管理計画について	(1) 現在ある公共施設の今後に向けた方向性が示されているのか	<p>①管理コスト低減と利用向上だけで問題が解決できるのか？ 利用向上と並んで応分の受益者負担が必要と思われるが、考えを伺う。</p> <p>②長寿命化も良いが、抜本的な見直しを無しにして問題の先送りに思えるが、如何か。30年間で同じような施設の統廃合を進め集約化が管理コスト低減の抜本改革で無いのか。</p>
			(2) 財政見通しに甘さは、無いのか？	<p>①少子高齢化に伴う労働人口の減少は、企業活力の低下に繋がる可能性を否定できないと思われる。また、人口減少に伴う土地等の固定資産評価低下など読み取っているのか？</p> <p>②人口減少と少子高齢化が進んでいく中で、人口動態を見据えた公共施設の需要の変化に対する分析がなされていない。長寿命化による施設整備の平準化としているが長寿命化に係る財政見通しが示されていないが如何か？</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	大原 伊一 (一括質問方式)	<p>2. 本市におけるスポーツ少年団の実態について</p> <p>3. 農業問題について</p>	<p>(3) 公共施設の内外装や設備の定期点検について</p> <p>(1) 本市におけるスポーツ少年団の参加人数の多い競技と競技場整備について</p> <p>(1) 本市農業の最新の状況について</p>	<p>①現状の定期点検は、十分と言えるのか？ メーカーによる本格的な定期点検と簡易的な定期点検業者とでは、長寿命化に違いが無いのか？</p> <p>①本市におけるスポーツ少年団の競技人口が多い競技ベスト5について ②スポーツ少年団1人当たりの公式戦の出来る競技場面積について ③競技場の整備が大幅に後れを取っているスポーツの今後の競技場整備方針について</p> <p>①過去5年の稲作農業経営体の推移について伺う。 農家数と平均耕作面積について 稲作10a当たりの平均販売金額推移について 稲作10a当たりの平均的なコストの推移について ②本市稲作農業の今後について 規模拡大だけで所得水準が向上出来るのか？ 本市の実態に合わせた地場産業と稲作農業の両立を目指した規模拡大型安定兼業を推進する事も必要で無いのか？</p>
8	堀 勝重 (一括質問方式)	1. 安全安心なまちづくりについて	(1) 道路及び側溝等の道路付属物の維持管理について	<p>合併前の旧燕市、旧吉田町、旧分水町において、概ね昭和40年から50年代をピークとして、公共施設や道路及び側溝等の道路付属物が整備されてきたところであると認識している。それらの施設等は、整備してから40年以上経過し、年々老朽が進んできておりましたが、「平成の大合併」により、「合併特例債」の活用及び「新市建設計画」に基づく事業により、概ね終了し一定の成果をあげたものと捉えています。</p> <p>しかしながら、これら以外にも、市内にはまだまだ年々老朽化が進み、直していかなければならない道路及び側溝等の道路付属物が多く残されている状況にあるのは、目に見えて明らかなどころである。</p> <p>今後、例えば、緊急を要する修繕が必要となった場合、予算不足等を理由に、適切かつ迅速に対応しないまま放置して事故等がおこり、人的被害が発生した場合、「安全・安心なまちづくり」を掲げている鈴木市政の思いとは違ったものになるのではないかと危惧しているところである。そこで、</p> <p>①道路及び側溝等の道路付属物の管理における現状把握の方法について伺う。 ②老朽化等により修繕しなければならない道路等ほどの位あるのか伺う。 ③今年度の当初予算で対応できるのか伺う。 ④今後の対応と取組み等について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	堀 勝重 (一括質問方式)	2. 職員の時間外勤務について	(1) 時間外勤務の状況について	<p>地方公務員の業務を取り巻く環境も、年々多様化、複雑化してきている昨今、通常勤務時間内では業務が追い付かない為、時間外勤務を余儀なくしなければならない状況が、少なからずあると認識している。</p> <p>職員の健康管理は大丈夫なのか、あるいは精神的に追いつめられている者はいないのかなど、燕市の大切な財産と捉えている職員であるがゆえに、しいて時間外勤務について質問いたします。</p> <p>①県内他市と比較した場合、どのような状況なのか伺う。 ②当市における職員の時間外勤務状況について伺う。 ③時間外勤務に対しての考えと対策等について伺う。</p>
9	土田 昇 (一問一問方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 地方自治法第92条の2に規定する議員の兼業禁止と第142条市長の兼業禁止の意義と見解について	<p>①地方自治法第92条の2では、普通地方公共団体の議会の議員は、当該普通地方公共団体に対し、請負をする者及びその支配人又は「主として同一の行為をする法人」の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人及び清算人たることができないと規定されているが、なぜ議員の92条の2と市長の142条が必要なのか市長の見解について伺う。</p> <p>②実例、判例の中で物品売買又は物品修理等々の契約については、その契約が一定の期間に一定の物品を納入し又は修理することを内容とし、またその契約の履行にあたり事実上必要とされる時期に分割して供給することとする等々<u>継続的な供給契約</u>と解される場合は92条の2の請負に該当するとしているが、その点の見解についても市長の認識について伺う。</p> <p>③当該普通地方公共団体に対する請負量が当該法人の全体の業務量の50%以上超える場合は、そのこと自体において兼業禁止に該当する(滋賀県甲良町)。そして、請負量が全体の業務量の半分を超えない場合でも、当該請負が当該法人の業務の主要な部分を占め、その重要度が議員、長の職務執行の公正、適正を損なうおそれが典型的に高いと認められる程度に至っているような事情があるときには、当該法人は「主として同一の行為をする法人」に該当するものと解すべきであるとされるが、その判例に対して市長はどのような見解か伺う。</p> <p>④平成18年10月12日大阪府知事は大阪の池田市で議会の議員失職決定処分を取り消した大阪府知事裁決の概要と兼業禁止規定の問題点の最後の文章についてどのように理解しているか伺う。</p> <p>⑤平成23年度以後今日まで議員若しくは議員が役員をしている会社等に仕事を発注した件数、金額等々について伺う。(会社登記簿等々確認する必要があると思います。)</p> <p>⑥市が発注した工事で完了したLED防犯灯管理体制の今後についても伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	白井 文雄 (一括質問方式)	1. 税務行政について	(1) 市民の理解が得られる固定資産課税について	<p>①家屋評価額は前年度比較でどうなっているか。棟数、課税標準額、滅失棟数、建築棟数はどうか。</p> <p>②家屋評価のトラブルでの税金滞納はどれくらいあるのか。また、家屋に係る滞納額はあればどれくらいか。家屋に関しての差押えはあるのか。あればどれくらいあるのか。家屋評価についてのトラブルは窓口、現場対応も含めてあるのか。あればどれくらいの件数なのか。</p> <p>③課税客体の把握方法はどのようにしているのか。</p> <p>④家屋評価の調査はどのような方法で行っているのか。</p> <p>⑤評価方法はどのように行っているのか。</p> <p>⑥評価研修体制はどのように行っているのか。また、国の通知にない部材関係はどのように決定して、これに関しての内部決裁は年間どれくらいあるのか。</p>
			(2) 評価内容の所有者確認について	<p>①家屋調査を実施した後で、所有者にはどのように評価内容を確認しているのか。評価内容は知らされているのか。</p> <p>②自分の家の家屋評価をなぜ教えて頂くことができないのか。</p>
			(3) 固定資産評価審査委員会について	<p>①課税に対する唯一の請願権である固定資産評価審査委員会への申立て状況は年間どれくらいあるのか。また、委員会設置についての市民への啓発はどうしているのか。窓口等での不服件数はないのか。</p> <p>②評価審査委員会への主訴は何か。委員から課への照会はないのか。</p> <p>③家屋の免税点についての棟数と所有者数はどれくらいあるのか。また、免税点についての啓発はどのように行っているか。</p>
		2. 農林行政について	(1) 農業での雇用確保問題について	<p>①後継者不足の中での外国人雇用労働者の実態について。(雇用人員は、言葉の弊害や賃金支払いの問題は)</p> <p>②外国人労働者の労務管理の現状はどのようになっているのか。(最低賃金は、労働条件は雇用についての注意事項はどうか)</p>
			(2) 森林資源の有効活用について	<p>①林業の現況はどうか。(山林の面積、所有者数、林業への支援体制は)</p> <p>②間伐材の処理で困っているという話を聞くが実態はどうか。</p> <p>③木質バイオマスの利用推進は考えられないか。(定住自立圏協定での弥彦との連携…間伐材の活用について)</p>
		3. 子育て行政について	(1) 育児体制の充実について	<p>①今後、どのように育児問題に取り組んで進めて行くのか。市職員も育児休暇、年休消化を積極的に活用してはどうか。</p>

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
11	山崎 光男 (一問一問方式)	1. 燕市合併 10周年を 記念した 様々なPR について	(1) 「市の鳥」 の制定につ いて	①全国には、市の木・花・鳥をセットで定めている自治体が少なくない。燕市では、市の木はサクラ、市の花は、キク、サルビア、バーベナテネラと3つもあるが、市の鳥は正式には制定されていない。勿論、誰が考えても「燕」なのは当然と思うが、合併10周年を機に正式に制定してはいかかが市の考えを伺う。
			(2) 燕市名誉 市民である グラフィック デザイナー、亀倉雄策 氏について	①燕市名誉市民の1人であり、東京オリンピックのポスターなど数多くのデザインを手掛けた、日本が世界に誇るグラフィックデザイナーの亀倉雄策氏は、今年4月6日に生誕100周年を迎えた。合併10周年と重なった本年こそ、彼の偉大な功績をもっと世に広め、顕彰すべきと考えるが、そのような取り組みが行えないか伺う。
		2. 選挙権年 齢「18歳以 上」への引 き下げにつ いて	(1) 高校生を 含む、未成年 に政治に関 心を持って もらうため、 燕市の取り 組みについ て	①選挙権年齢を、現行の「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる公選法改正案が、6月中旬にも成立し、来年の参院選から適用される見通しである。全国的に投票率低下、特に若者層の政治離れや選挙無関心が問題になる中、燕市においては未成年の有権者にどのような啓発を行って行くか現在の考えを伺う。
12	埴 豊 (一問一問方式)	1. 市長の政 治姿勢につ いて	(1) 中長期の 財政見通を 踏まえて	①合併特例債の終了を迎えての今後のまち作りの手法について。 県央大橋西詰開発、燕工業高校跡地の民間活力導入の手法について。 ②今後増大する公債費と減少が予測される交付税にあって、一般財源をいかに確保するのか。 ③職員の適正人員と公共施設の維持管理について。
		2. 戸隠神社 祭礼の無 形文化財 登録につ いて	(1) 戸隠神社 祭礼の無 形文化財 登録につ いて	①市内(燕地区)人口の高齢化と祭の伝承をいかにして図るか。 ②賑わいを取り戻す意識改革の必要性について。
		3. 産業政策 について	(1) 商工会議 所ニュース から見えた こと	①事業継承と後継者問題にいかに取り組むか、行政のはたす役割は。 ②特に小規模事業について。 下請業者の減少が産地産業に及ぼす影響について、コバシリ、ナイフの製造について。

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
13	齋藤 信行 (一括質問方式)	1. 一日市長について	(1) 市民から一日市長になってもらい行政と市民とが協働でまちづくりを	①一日市長については、住民から行政へ関心を持っていただくために、小中学生などを一日市長に任命し、市のPRをしているところが全国で多く見受けられます。また、有名人を一日市長に任命し、市のPRをしているところもあり、燕市でも一昨年、ヤクルトスワローズの「つば九郎」を二日間限定で「つばめ市鳥」に任命したと記憶しております。さて、私が日頃から思っていることではありますが、市役所の仕事は、市民課の窓口などは別として、多くは市民から見えにくく、わかりづらいのではないかと思います。そこで提案がありますが、市役所の仕事に関心のある人を、小中学生などに限らず、「一日市長」として任命し、市役所の仕事を知っていただく市役所の職員も日々どのような仕事で頑張っているのかを理解していただくことは、市民と行政とが協働でまちづくりを進めていくうえで、必要なことではないかと思いますが、市長の考えを伺います。
		2. 地方自治について	(1) 地方創生について	①私は、地方創生を推進するための3つの柱という事で市はいろんな事業をあげているが一つの事業でも他の事業と連携することで一石二鳥になる事業もあるのではないかと、各課の連携について伺います。 ②地方創生は国では、各自治体のアイディア、そして各首長のリーダーシップとも言っています。地方創生の今後の市のあり方、方向性について市長の考えを伺います。 ③地方自治及び地方創生について市の小中学校に対する授業の取組について伺います。 ④小中学校で燕の授業で燕の何年後はどうかと考える事があるのかも伺います。 ⑤小中学生を対象とした模擬議会などの対応も燕市についてとすることで考えられないか伺います。
		3. 農学問題について	(1) チャレンジ・ファーマー支援事業について	①チャレンジ・ファーマー支援事業について今年度の状況を伺います。 ②来年度もチャレンジ・ファーマー支援事業を続けるのか、また予算はどうなるのかも伺います。 ③チャレンジ・ファーマー以外の支援について今後の方向性についても伺います。 ④チャレンジ・ファーマー支援事業について各農家の反応はどうか伺います。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	宮路 敏裕 (一問一問方式)	1. 旧燕工業高校跡地利活用提案事業について	(1) 基本的認識について	<p>①「事業者提案制度」の導入について、旧燕工業高校跡地の利活用においては用途解除の申請が承認されたことを受け、特養ホームなどの福祉施設としての活用や文化的施設或いは住宅団地として造成したらどうかという提案などがあり、これらの様々な見解について、公平性の観点からも選考プロセスを経る必要があるとの認識によって、「事業者提案制度」の導入を立案したという説明があった。福祉施設や文化的施設、また住宅団地造成などの要望・提案は、どのような過程でどのような人から出されたものか、また、市として周辺住民はじめ市民の要望・意見をくみ取るための施策を、積極的に行ってきたのか、伺う。</p> <p>②事業提案について民間の企画力やノウハウに基づく、新たな提案も想定しているということであるが、何を想定しているのか、福祉施設や文化的施設、住宅団地の造成以外も想定しているのか、伺う。</p> <p>③事業提案の審査委員会の委員に近隣自治会長が含まれるが、どこの自治会を考えているのか、伺う。</p> <p>④応募に関する留意事項のなかで「市内業者の活用について」、可能な範囲で市内業者を採用するように努めるものとする、とあるが、市内業者が入っていない場合でも、審査で高い評価を獲得すれば、採用されるという認識でよいのか、伺う。</p>
		2. 燕市子ども・子育て支援事業について	(1) 幼稚園・保育園・子ども園の施設整備について	<p>①本市においては安心して子どもを産み育てられるまちづくりをめざし、子育て・教育環境の整備や多様な保育サービス、子育て家庭への支援がおこなわれている。さらに、就学前児童の保護者や小学生の保護者を対象にしたニーズ調査も行い、その結果をふまえて、子育て支援事業の実施計画を策定し、とりくみが進められている。</p> <p>計画の中で、教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制を確保するためには、子どもの育ちの観点を大切にして、教育・保育機能の充実と施設の整備を一体的にとらえた環境整備が必要であると、実施計画では結論づけている。現在、市内の幼稚園・保育園・子ども園の建築年数は様々であることは承知しているが、主に古い建築年数の施設という点、どこの施設で築何年経過しているか、伺う。</p> <p>②幼稚園・保育園・子ども園、それぞれ当該施設の園長さん、また保護者の皆さんからの施設整備の要望はどのようなものが、上がっているか、伺う。</p>
15	小林 由明 (一問一問方式)	1. 住民とともに取り組む、情報の活用について	(1) 住民から提供された情報の活用について	<p>①PC やスマートフォンの普及が進み、だれもが簡単に情報の発信や収集を行うことができるようになってきている。住民の情報発信力を、防災や観光、まちの安全安心の実現など、市政に活かしていくべきではないか。</p> <p>②住民から写真付きで提供される市内の危険箇所、魅力的な場所などの情報が掲示されるページを、インターネット上に設置できないか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	小林由明 (一問一問方式)		(2) 市の業務の透明性の向上について	①市の事業の進捗状況や、日々住民からどのような要望があり、どのように対応したのかなど、市の業務がどのように進み、どのような課題があるのかを住民に理解してもらうためにも、市のHP上で定期的な報告をする、グラフなどを用いた見やすいページを設けてはどうか。
			(3) フォトログейニング開催による、燕市の魅力発見・魅力発信について	①ランニングブームや登山ブームの高まりから、トレイルランニングなど自然の地形を活用してのスポーツに取り組む方が増えている。住民の方から魅力的な地域の情報を提供していただき、それをもとに地図を作成し、フィールドを山野ではなく市に変え、スポーツをしながら燕市内の魅力を満喫し情報発信にもつながる、フォトログейニングを開催できないか。 ※フォトログейニングとは、地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは見本と同じ写真を撮影します。チェックポイントに設定された数字がそのまま得点となり、より合計点の高いチームが上位です。 (フォトログейニング公式サイトより)
		2. 防災について	(1) 市と消防団との連携について	①防災・減災の取り組みについて、市と消防団の連携はさらに強くできるものと考えており、そのようにすべきと考えているが、消防団と市の連携・意思疎通の重要性をどのように考えているか。 ②消防部局と行われる様々な会議等において、消防団からも出席してもらうなど、市と消防団との直接的な意思疎通の機会を増やしていくべきではないか。
			(2) 住民一人一人の防災意識の向上について	①まちの防災力向上は、住民一人一人の防災意識の向上や、その具体的取り組みが必要不可欠である。住民の意識や具体的取り組みをさらに進めるために、どのような方策を持っているか。 ②住民、自治会・自主防災組織、行政、それぞれ相互に求める役割の認識に差異があると感じている。その認識の差異が、住民の防災意識と取り組みの向上の妨げとなっている感がある。それぞれの認識の差異をなくしていく方策はあるか。
		3. 都市形成について	(1) まちなかの今後について	①旧3市町のいわゆる「まちなか」について、それらが抱える現在の課題と今後のあり方を、市はどのように考えているのか。 ②まずは、そこに住まう住民が自ら考え、自らみらいを切り開いていくことが重要であると考えているが、それを推進していくための方策はあるか。
		16	大岩勉 (一問一問方式)	1. 教育振興対策について

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	大岩勉 (一問一問方式)	2. 燕市における空家対策について  3. 選挙管理委員会の業務について	(2) 青少年の夢応援事業について  (3) ネットいじめ防止の取組について  (1) 全国に及ぶ空家対策の特別措置法が全面施行された事について担当課はどの様に対応されるのか  (1) 市制施行から10周年を向えるが、選挙の記録の編集作成について  (2) 期日前投票所を増やす努力をなげられないのか	①「羽ばたけつばくろ応援事業」に小中学生団体の応募状況数を伺う。 ②応募された中で発想と行動力が素晴らしいもの又、「奇想天外な企画」と思われたものがあったか伺う。  ①児童生徒の携帯やスマホの所持率は確認されているのか伺う。 ②市内・小中学校の生徒でネットでいじめを受け、相談されている生徒数を伺う。  ①市内には、治安や防災上の問題が懸念される空家数はどのくらいの数把握されているか伺う。 ②所有者に撤去や修繕を勧告、命令されたものの現状を伺う。 ③空家条例を施行した市や、解体する際の費用補助制度を設けた市などがあるが把握されているか伺う。  ①旧燕市では、市制施行から平成17年9月までの選挙記録が編集発行されている事は把握されているか伺う。 ②合併10周年を迎える年として、新燕市の「栄枯盛衰」を知る大切な事と思われませんか伺う。  ①10月の燕市議会選挙では、燕市役所1ヶ所の期日前投票所への対策として、シャトルバス対応されたが、空気を運ぶだけの「寸進尺退」の結果でなかったか、反省考慮すべきではないか伺う。 ②市町村合併で投票所数が減少しており急速な高齢化のなかで、投票会場が遠くなれば投票率にも影響しており改善が必要でないかと思うが、選挙管理委員会の考えを伺う。 ③長岡市では大型ショッピングセンターに県内初の期日前投票所を設置するなど「一瀉千里」な取組をされたが、選挙管理委員会はどう思われるか伺う。
17	タナカ・キン (一問一問方式)	1. 観光振興について	(1) 観光ポスター及び印刷物について	①昨年の9月議会で夏まつりのポスターについて質問を行った。 今年是一般公募で選ばれた作品が夏まつりのポスターに採用され、現在庁舎内に掲示されているが、夏まつりの魅力を十分に伝えてくれる出来である。 観光ポスターは他の自治体のもので並べて貼られることも多く、その様はまるで品評会である。 観光ポスターから、それぞれの自治体の魅力やセンスを押し量ることが出来る。 今後もポスターや印刷物には、それなりの配慮が必要だと思うが考えを伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
17	タナカ・キン (一問一問方式)		(2) 渡部城跡について	①燕市の指定文化財の1つに渡部城跡がある。大河津分水路左岸・渡部橋を渡り寺泊方面に向かうと、すぐに左側に渡部城跡案内板が立っている。 指定文化財の担当課は、燕市教育委員会社会教育課であるが、観光スポットという観点からは観光協会の管轄とも言える。特に駐車スペースがあるわけでも無く、急な石段や山道も荒れていて整備されていない。市指定文化財の保護についての考え方や取り組みについて伺います。
			(3) 観光モニタメントについて	①3月議会の予算審査の時にも報告しましたが、現在支柱である鉄部は錆がひどく、また本体のステンレス板を止めているボルトもいくつか取れ、パーツの一部が落下しているという状態である。 今まで、どんな管理をしてきたのか伺います。 ②今後、どうするのか。 修繕にしても、解体にしても予算が必要である。考えを伺います。
			(4) 「分水おいらん道中」について	①4月19日(日)に開催された「第73回分水おいらん道中」は、主催者発表によると、県内外から9万5,000人が訪れたということである。 この観光客入込数は、データによれば合併前の平成16年・17年の15万人に対し、合併後は10万人を割ることが多く、平成25年度では6万2,000人という数字が残っている。観光客の落ち込みの原因について伺います。 ②この「おいらん道中」は、近年全国各地で行われている。その数や内容について確認されているか伺います。 ③燕市最大の観光イベントであることは間違いないが、今後更なるビックイベントにするために何か考えていることがあれば伺います。
18	山崎 雅男 (一問一問方式)	1. 交通安全対策について	(1) 道路交通行政について	①平成18年12月25日に交通安全都市宣言を行い、各種事業を展開しているが、市政施行10周年の節目である本年度、交通事故抑止には交通安全の意識啓発と共に道路構造面でも対策を立て、未然に事故を防ぐ事故予防策も重要かと思われるが見解を伺う。 ②安全とは客観的に見て危険や危害の発生する恐れのないことを示し、安心とは主観的に不安材料がない心理状態を指しているが、現在と将来の安全・安心を考えた時、市が担うべき交通安全対策と市民が切に願う安心感を満たすためにはどのような事が重要と考えるか見解を伺う。 ③燕市管内の交通事故多発地帯と地区別の現状と市の認識を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	山崎 雅男 (一問一問方式)			<p>④主要地方道燕・分水線の田中地域が平成17年に暫定2車線で供用開始してから10年経過。拡幅整備説明会時当初から交通量増大し事故が発生することの懸念があり、信号機の設置を再三再四、要望しつつあったが、結果的に供用開始から人身事故で犠牲者含め大きな交通事故が3件発生。今回、地元住民が横断歩道を渡っての被害者となり信号機設置されていれば防げたのではないかと地元では皆そう思っているが、以前の議会質問に対して市より公安委員会に信号機設置に向けて強く要望すると答弁を頂いたが進捗状況はどうか伺う。</p> <p>⑤信号機の設置や横断歩道・制限速度等の道路標識・表示等の看板はどのように決定され設置されるのか。</p> <p>⑥平成26年度から「高齢者運転免許自主返納支援事業」を実施しているが、現状認識を伺う。</p>
		2. 公共施設(避難所・長寿まつり等)の洋式トイレ整備について	(1) 洋式トイレの普及について	<p>①施設改善の取り組みの一環として各公共施設等の和・洋式トイレの割合と現状について伺う。また、トイレの洋式化の普及に向けての今後の取り組みについて伺う。</p> <p>②各小中学校の洋式トイレの設置状況について伺う。</p>
		3. 安全・安心なまちづくり(防犯カメラ設置のあり方について)	(1) 防犯カメラの設置状況について	<p>①防犯カメラの映像が犯人を特定する決め手となりえるが、粟生津地域の不審火による防犯カメラの必要性からはじまり、燕市一円に設置の動きが広まりつつある中で、市として把握されている防犯カメラの設置状況について伺う。</p> <p>②防犯用に設置されるカメラの場合は犯罪抑止効果と犯罪が起きた時の証拠確保を目的とした場合があり、犯罪抑止効果を目的とした場合は目立つ場所に設置、証拠確保を目的とする場合は目立たない場所に設置であるが、設置内容と防犯カメラ機能と効用について伺う。</p>
		4. 燕市優良工事表彰について	(1) 幅広く部門別に表彰することについて	<p>①市民の財産である公共構造物を作る業者にとっては、市からの賞は大きな励みにもなり意欲の増進や、より一層技術向上を図り熱意ある取り組みを行っていく事と思う。</p> <p>施行管理・安全対策・品質管理・対外関係等に於いて他の工事の模範となるような取り組みを行った建設工事業者に表彰を行っているが、公共工事は厳しい自然環境や現場周辺住民の生活環境への配慮等、個別工事ごとに施行条件が異なっている中で、新潟市のように土木・舗装・下水道・建築・電気・管部門等々に建設技術の向上発展に資する事を目的に昭和61年から実施しているが、本市も幅広く部門別に表彰することについての見解を伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
19	中山 眞二 (一問一問方式)	1. 都市整備について	(1) 県央大橋西詰め整備について	<p>①調査を依頼した日本総合研究所の報告書にかかった経費とその効果について。</p> <p>②現在日本総研との関係はどのようになっているのか。</p> <p>③報告書はどのように生かされているか。</p> <p>④燕三条地場産業振興センターが、観光に力を入れ、「道の駅構想」をもっており、県央の玄関口となるよう動かれているようだが、同様に燕市の玄関口を目指す県央大橋西詰めとの関係、重複性はないのか、または相乗効果があるのか。</p> <p>⑤本計画に飲食店や、物販販売が考えられているが、それらは民業圧迫の要因とはならないのか聞きたい。</p>
			(2) 空き地空き家対策について	<p>①県央大橋西詰め整備計画の隣接地に、南楽新館という建物があり、状況は高橋書店と似ているがこの物件の危険度と対処はどのように考えているのか。</p> <p>②老朽化して近所迷惑になっている建物の所有者が確定できない場合の処置はどのようにするのか。</p> <p>③庁内の情報の共有と個人情報の保護について聞きたい。</p>
		2. 県央基幹病院について	(1) 病院建設における燕市議会の立ち位置について	<p>①一年前一般質問をして以来、一日も早く病院の完成を願うとの答弁から、現実は何も進展しているように見えないのだが、進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>②県にすべてお任せの感があり、詳細な説明は避けられるように見受けられるが、燕市としての意見要望の集約、県への発信はしなくていいのか。今まで、正式な市の要望や議会からの意見を聞かれることはなかったが、それでいいのか聞きたい。</p> <p>③関係の各市とは意見要望の調整集約はなされているのか。</p>
20	長井 由喜雄 (一問一問方式)	1. 地域の防犯について	(1) 地域防犯の現状と課題について	<p>①市のホームページによると燕市内には19の防犯活動団体及び事業所がある。子どもたちを犯罪から守ることや、地域住民が安心して暮らすことができる地域社会を構築していくことは重要な課題となっている。現在の活動および活動に参加してもらおう働きかけについての現状と課題について伺う。</p> <p>②合併前の2005年に群馬大学の藤井雄作助教授(当時)が開発した防犯カメラシステム「e自警ネットワーク」について視察に行き、これが導入された小学校で藤井教授と校長先生から話を聞いた。システムのソフトは無償で公開され、家で眠っている使われなくなったビデオカメラやパソコンがあればできるものだ。残念ながらソフトはWindowsXPまでの対応ということだが、e自警ネットワークでは「e自警ドアホン」の二桁代の台数を「社会実験」として無償提供される情報もあるが、行政としても情報の収集をしてはいいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
20	長井 由喜雄 (一問一 問方式)	2. 子ども医 療費助成 について	(1) 入院、通院 ともに高校 卒業まで拡 大すること について	①燕市における子どもの医療費助成は、昨年9月に入院、通院ともに中学卒業までとされた。しかし、新潟県でさえも3人以上の世帯については入院、通院ともに18才に達する年度の3月末日まで、一般的に「高校卒業まで」としている。県内自治体でも対象を拡大するところが増え、県央でも加茂市が入院を高校卒業まで、通院も3人以上には高校卒業までに拡大している。燕市においても広く「子育て支援」、「多子世帯支援」の観点から高校卒業までに拡大することが求められているが考えを伺う。
		3. 国民健康 保険につ いて	(1) 医療保険 制度改革法 について	①国民健康保険の財政運営を都道府県に移管する「医療保険制度改革法」が国民や医療団体などの多くの反対の声があるにも関わらず国会で可決された。現在でも高すぎる国保税に悲鳴を上げ、税の引き下げを求める市民の声は多い。都道府県移管は収納状況に関係なく市町村に標準保険料を求めることや、紹介状なしの大病院受診に高額な負担を義務化すること、入院食事負担の増など、徴収強化や医療費抑制を進めるものであると考える。 低所得階層が多く、国民皆保険制度を根本で支える国民健康保険の「改革法」を保険者としてどう認識しているのか伺う。
			(2) 一般会計 からの繰り 入れにつ いて	①被保険者である市民の国保税負担は重い。一般会計からの繰り入れで支えることが必要ではないか。市長の考えを伺う。